

## 田園都市線藤が丘駅改良工事に着手

駅のバリアフリー化と、急行通過線を新設し急行列車の速度アップを図ります

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：清水 仁）では、田園都市線藤が丘駅改良工事に8月23日（月）から着手します。

藤が丘駅は昭和41年の田園都市線開通時からの駅施設を使用しており、駅舎などの老朽化が進んでいることから大規模な改良工事を行うことにしたものです。併せて上り線に急行列車の通過線を新設します。

改良工事は、駅施設改良工事と、上り急行列車の通過線新設工事を行います。

駅施設改良工事として、

- ① 駅施設のバリアフリー化を図るため、上下線ホームにそれぞれエレベーターとエスカレーターを1基ずつ設置します。
- ② 旅客サービス向上のために構内トイレを新設します。
- ③ 雨天時の利便性の向上を図るため、ホーム上屋の延伸を行います。これは、上下線ホームの上屋を現在の2両分から、8両分に延伸するものです。

また、上り急行列車の通過線新設工事は、田園都市線上り線急行列車の速度アップを図るため、上下線間に上り急行列車の通過線を新設するものです。具体的には、現在の下り線ホームを南側に移設し、現下り線の南側に新たに下り線を敷設することで、現下り線を上り急行列車の通過線に転用します。なお、上り各駅停車が使用する線路については現状のまま使用します。（別紙参照）

藤が丘駅改良工事全体の竣工は平成13年度末の予定ですが、エレベーターは今年度内、エスカレーターは平成12年度内に使用を開始する予定です。

藤が丘駅改良工事の概要は次のとおりです。

### 藤が丘駅改良工事の概要

- 工事区間 814m
- 工事内容
- ・ 上下線ホームにそれぞれエレベーター、エスカレーターを1基ずつ設置する
  - ・ 構内トイレを設置する
  - ・ 上下線ホームの上屋を既設の2両分から8両分に延伸する
  - ・ 下り線ホームを移設し、新たに下り線を敷設する
  - ・ 現下り線を上り急行列車の通過線に転用する
  - ・ 自動改札機の設置

○工 事 費            3 9 億 5 千万円

○主な施設使用開始予定

平成 1 1 年度	エレベーター 2 基使用開始（予定）
平成 1 2 年度	エスカレーター 2 基使用開始（予定）
平成 1 3 年度	構内トイレ使用開始（予定）

○竣 工            平成 1 4 年 3 月（予定）

以 上